

# フィットナット

## －取り扱い使用例－

### 使用部材

フィットナット	FM 6 (M6 ネジ)	M6 ネジ	ナベ M6×10
アクリル板	単 穴(60×40×3)	ドライバー	No.3

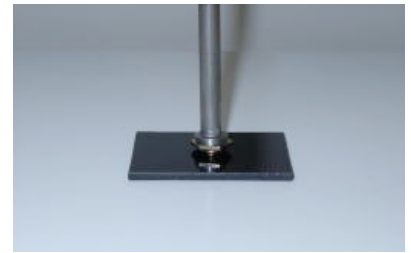
### 使用説明

- ・ **フィットナット**は、簡単に圧入するだけで使用でき、最終処理の段階で簡単に分別できる雌ネジです。
- ・ サンプル板は、ドリルによる単純穴あけをした アクリル板の 3mm を使用しています。
- ・ 下穴の設定条件は、穴径  $\phi 7.4$  です。**フィットナット**の圧入部は  $\phi 7.5$  で  $-0.1$  で設定しています。(FM6 使用、アクリル板の場合)
- ・ 樹脂の種類、ユーザーの希望固定力など、条件を変更することで多くの樹脂に対応が出来ます。

### 圧入

すべり止めの上にサンプル板(アクリル板)を置き、穴にあわせてフィットナットを圧入しました。

このとき完全に圧入が出来ていなくても、ネジを締めるときに引き込まれるので大丈夫です。



### ネジ締め

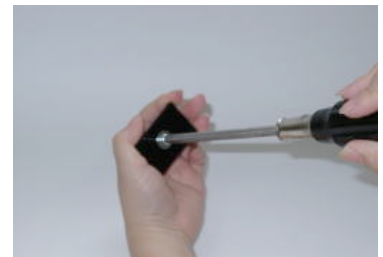
フィットナットを圧入した方向とは逆の方向からビスを挿入し、ネジ締めを行います。

ドライバーを使用して、完全に締付けをしても共回りを致しません。

共回りに関してのトルクの質問については、すべり係数等の条件により一概に言えませんが、当社でテストをした状況では、ほとんどのテストピースで雄ネジもしくは、雌ネジの破損まで共回りを致しません。

樹脂の破損防止策として、下記のような設計をしているので破損が少なくなります。

- ①荷重が一部分に集中しない設計
- ②穴の周囲に荷重がかからない設計



### 取外し

**フィットナット**は、圧入とは逆方向から圧力(圧入時と同等)を加えるだけで簡単に取外せる事ができます。

量産では、穴径に合ったシャフト等で押出すことで取り出せます。

**フィットナット**側にも樹脂側にも残存物を残さず完全分別が出来ます。

